

(日本銀行仮訳)

2010年2月2日

BIS 支払・決済システム委員会  
証券監督者国際機構専門委員会

## CPSS と IOSCO による資金決済システム、証券決済システム、 清算機関に関する基準の見直しについて

- 支払・決済システム委員会（CPSS）と証券監督者国際機構（IOSCO）専門委員会は、資金決済システム、証券決済システム、清算機関等の金融市場インフラにかかる既存の基準の包括的な見直し作業を開始した。
- 見直しの対象となる3つの基準は以下のとおり。
  - ・ システミックな影響の大きい資金決済システムに関するコア・プリンシプル（2001年）
  - ・ 証券決済システムのための勧告（2001年、2002年<sup>1</sup>）
  - ・ 清算機関のための勧告（2004年）
- 昨今の金融危機にあって、金融市場インフラは概して十分に機能を発揮し、実際以上の危機の深刻化を食い止めることに大いに貢献した。しかしながら、両委員会は、今般の危機や基準策定後の年月における平常時の決済システムの運行から学べる教訓があると考ええる。このため、今般、必要に応じた基準の引き上げも視野に入れつつ、これらの基準を見直すことはタイミングがよいと考えられる。
- 頑健な金融市場インフラは、システミック・リスクの主要な震源となりうるリスクを減らすことにより、金融安定化に不可欠な貢献をする。さらに、過大なカウンターパーティ・リスクを負わない形での決済が可能とされる限りにおいて、金融市場インフラは、ストレス下で金融市場の流動性を維持するための一助にもなる。
- 見直し作業は、CPSS メンバーの中央銀行および IOSCO 専門委員会メンバーの証券監督当局の代表者によって進められる。国際通貨基金および世界銀行も、本見直し作業に参加している。本件は、金融安定理事会が取り組んでいる金融システムの相互連関から生じるリスクの削減に向けた作業の一環である。

---

<sup>1</sup>（当方注）『証券決済システムのための勧告』の評価方法（Assessment methodology for “Recommendations for Securities Settlement Systems”）（BIS、2002年）も併せて参照。

- 両委員会は、作業の進捗に合わせて、適宜、他の関係当局と協調しつつ、市場参加者とも意見交換をしていく。両委員会は、見直し後の基準案を 2011 年初に公表し、市中協議に付すことを目指している。
- このほかにも、両委員会は、2009 年 7 月 20 日のプレス・リリース<sup>2</sup>で発表のとおりに、店頭デリバティブ商品を取扱う清算機関に対して、『清算機関のための勧告』をどのように適用すべきかについて、ガイダンスを策定中である。本ガイダンスは、取引情報蓄積機関等、店頭デリバティブ商品を取扱っている他の関連インフラも対象とする。本件に関する作業は、店頭デリバティブ商品のための清算機関や取引情報蓄積機関が業務を開始したり、業務開始に向け準備中であることから、包括的な基準の見直し作業に先行して進められてきた。本ガイダンスにかかる市中協議書は数カ月中に公表される予定。新しいガイダンスは、既存の『清算機関のための勧告』の内容を必ずしも変更するものではないが、今般開始された包括的な基準の見直し作業にも取りこまれる。

#### 背景情報

1. CPSS は、中央銀行が決済インフラの動向についてモニタリングおよび分析を行い、これらに関する基準を策定するためのフォーラムである。24 の国・地域の中央銀行がメンバーとなっている。CPSS の議長は、ニューヨーク連邦準備銀行総裁のウィリアム C. ダドリーが務めている。CPSS の事務局は、国際決済銀行 (BIS) 内に設けられている。CPSS に関する更なる情報および公表物は BIS のウェブサイト (<http://www.bis.org/cpss>) から入手可能となっている。
2. IOSCO は、証券監督当局の政策フォーラムである。IOSCO のメンバーシップは、100 を超える法域に跨る世界の証券市場の 95% 超を監督する当局からなっている。専門委員会は、IOSCO の理事会によって立ち上げられた専門ワーキンググループであり、世界の中でも規模が大きく、より先進的かつ国際的な市場を監督する 18 の当局のメンバーから構成されている。専門委員会は、国際的な証券・先物取引にかかる主要な規制上の論点を見直し、これらに対する現実的な対応を調整することを目的としている。専門委員会の委員長は、米証券取引委員会の委員であるキャスリン・ケイシーが務めている。専門委員会に関する更なる情報は、IOSCO のウェブサイト (<http://www.iosco.org/>) から入手可能となっている。
3. 基準の見直し作業の共同議長は、CPSS と IOSCO 専門委員会の議長であるウィリアム C. ダドリーとキャスリン・ケイシーが務める。

以 上

---

<sup>2</sup> (当方注) 仮訳は、本行ホームページ「支払・決済システム委員会によるプレス・リリース『清算機関のための勧告』の見直しに関する支払・決済システム委員会と証券監督者国際機構の共同ワーキンググループ」について」(<http://www.boj.or.jp/>) 参照。